

# 保育だより

2023年 11月号

社会福祉法人いずみ会  
幼保連携型認定こども園  
つるた乳幼児園

園長 福澤 紀子

北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2

電話 0173 (22) 3765

## 自然の恵みに感謝する

主幹保育教諭 木村 美穂

異常な暑さの夏も過ぎ去り、10月に入りようやく季節の移り変わりを感じるようになりました。ニュースでも知っていると思いますが、国連のグレートス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と警告し、世界各国が気候変動対策の行動を起こさなくてはならないとコメントしています。私たちの住む鶴田町でも暑さや水害で農作物である、りんご、スチューベン、野菜等に多大な被害が出ています。今年のような気候が続くのであれば、育てる農作物を考えていかなければ生活できないという声も聴こえてきます。子どもたちが育てた枝豆は昨年よりもサヤが膨らまず、実がつかず枯れてしまった物もありました。

食事の挨拶で「自然と大地の恵み作ってくれた人たくさんいのちに感謝して今日もおいしいごはんをありがとうございます。いただきます。」と言って食事しています。年齢によっては言葉に含まれている意味は分かり

ませんが、毎日の生活や遊びの中で体験を通して心と体で感じられる関わりを大切にしています。子どもたちは畑で野菜を育て、収穫し自分で作った野菜をピザやカレーライスに入れて作ります。また、給食者の作っている様子を窓越しからながめ、園内に漂う鍋からの匂いを感じて給食の時間を心待ちにしています。匂いを感じて食べてみたいと食欲を掻き立てられ、大好きな友達や先生と一緒に食べることで色々な食材やメニューを食べるきっかけにもなります。実際、家族で同じ物を作っても食べないという話も聞きます。園で食べること、遊ぶこと、生活することで、子どもの育ちに様々な力が働いていると感じます。

今年の作品展のテーマは「みんな あつまれ！ 森といずみとにじの園」でした。自然物を使った作品がたくさんありました。これからも、自然の恵みやいのちへ感謝する思いを生活や遊びの中で体験し、心と体で感じられるよう関わっていきたいです。



## ◆ 報 告 ◆

## ◎秋の体験

・五農体験 9月26日(火) かなりや  
2年生の生徒さんたちと枝豆の収穫体験をしました。

・ぶどう狩り 10月13日(金) かなりや(写真)  
元保護者の坂本正輝さんのご好意により、ぶどう狩りをさせていただきました。

## ◎公開教育・保育 10月11日(水)

・今年は実践のプロである八戸市中居林こども園 理事長 栢沢幸由先生を招き、質の改善を図りました。先生の他7人の方々が園庭の様子を見学し、子どもの姿に感動して帰りました。

## ◎幼児教育講座 10月18日(水)

かなりや・うぐいす

国際交流会館にて、「ふうせんやさとら」さんのふうせんショーを楽しみました。お土産にたくさんのふうせんの作品をいただきました。

## ◎読み聞かせフェアー 10月21日(土)

親子で参加できる方は親子で、保育が必要なかなかりやさん数名は保育士と一緒に参加しました。

## ◆ 行 事 ◆

◎作品展示 10月27日(金)～11月2日(木)

◎第4回保育学校 11月2日(木) 午後6時～

◎点灯セレモニー 11月27日(月) 午後4時～

## ◆ 予 告 ◆

2023年度クリスマスこども会 12月16日(土)

## ◆ 消 息 ◆

◎東奥保育・福祉専門学院2年 松田楓さん  
11月13日(月)～25日(土)まで実習します。

## ● 子育て支援センターより ●

◎リフレッシュタイム 11月1日(水)・22日(水)

◎いのちのまつり参加 11月18日(土)・19日(日)

